

高等学校国語科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
問一	① かいしゃく	語として採点する。	各2	6
	② ほんやく			
	③ 仰			
	④ がい			
	⑤ 幻想			
	⑥ 肝要			
問二	A オ		各3	2
	B イ			
問三	「ことば」で表現しようとする際には、表現対象の選択や、取り上げる対象の側面の選択とその扱い方、ことばの選択とその順序に、伝えようとする人のものの見方、認識の仕方が表れるから。(87字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	70
問四	ウ		5	
問五	囲碁や将棋において、一般的な最善手などなく、つねに今その局面で最適な応じ方を判断するという点と、文章において、絶対的に美しいことばなどなく、意味の上でも語感の上でも、その場面や文脈を表すのに最適なことばを選択するという点。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	15	
問六	川端は、横光という盟友を失った悲しみを表現する部分で、「さびしさ」「さびしい」という和語を用いている。一方、文学界における横光の功績に対する尊敬の念を表す部分で、「文学の真中の柱ともいうべき君を、この国の天寒く年暮るる波濤の中に仆す我等の傷手は大きい」と漢語や比喻を用いている。和語から感じられる素朴さと、漢語や比喻から感じられる格調の高さが織り交ぜられることにより、盟友を失った純粋な喪失感や文学界における横光の存在の大きさが余すところなく表され、川端の横光に対する並々ならぬ思いや、川端自身のもつ高い文学性が読み手にも伝わってくるため、「名表現」であるといえる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	20	

高等学校国語科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点		
問一	a	断定の助動詞「なり」の連用形		各 3 × 4		
	b	ラ行四段活用動詞「なる」の連用形				
	c	完了の助動詞「ぬ」の連用形				
	d	ナリ活用形容動詞「ねむごろなり」の連用形活用語尾				
問二	ける			3		
問三	(1)	記号	ア	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	
		理由	花が咲いた頃に雨風が続き、花が散ることに対して、「心あわたし」「心のみぞ悩ます」と表現しており、花が散ることを惜んでいるから。(66字)			
	(2)	記号	大意		大意については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	大意 記号 各 各 5 2 × 2 4 4
		ア	D	咲いた桜を吹き散らしてしまう風が今夜泊まる所を誰か知っているだろうか。私に教えてほしい。訪ねて行って恨み言を言ってやろう。		
			F	春雨の降るのは花の散るのを惜しむ人の涙だろうか。桜の花が散るのを惜しみ悲しまない人はどこにもいないのだから。		
		イ	C	桜の花は、残ることなくさっぱりと散るところがみごとなのだ。いつまでも残っていても最後はつらくいとわしいものなのだから。		
H	散るのを待ってくれと言ったとき、しばらく枝にとどまってくれるものならば、どうして私は桜をますます愛するようになるでしょう。散るからこそ愛着が増すのです。					
問四	1	花橋は有名ではあるが		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	4	なぜ、そのように泣かれるか				
問五	五言律詩			3		
問六	猶ほ枯木のごとし			3		
問七	風が吹いて桜の花を散らさないよう、なんとか春風に贈りものをしよう。(33字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6		
問八	僧は、児が散る桜を惜しんで泣いていると思い慰めたが、児は桜が散ることとは関係なく実生活との関わりによってのみ泣いており、僧の独り合点となってしまったこと。(77字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

80

高等学校国語科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
三	問一	科目名	留意事項	留意事項については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	科目名 各2×2 留意事項 各5×2	
		現代の国語	現代の社会生活に必要とされる論理的な文章及び実用的な文章とすること。			50
		言語文化	古典及び近代以降の文章とし、日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含めるとともに、我が国の言語文化への理解を深める学習に資するよう、我が国の伝統と文化や古典に関連する近代以降の文章を取り上げること。また、必要に応じて伝承や伝統芸能などに関する音声や画像の資料を用いることができること。			

高等学校国語科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
三 問二	単元の目標 ・情報の内容を整理し、文章の効果的な組立て方を考えたり、自分の考えが的確に相手に伝わる表現を工夫しようとする。(関心・意欲・態度) ・情報の内容を整理し、文章の効果的な組立て方を考えたり、自分の考えが的確に相手に伝わる表現の工夫ができる。(書く能力) ・出典の明示の仕方を理解する。(知識・理解)			
	次 時	具体的な学習活動	具体的な評価規準・評価方法	
	一 1	○クラス内での意見発表会に向け、新聞から自分の課題意識を持っている記事を収集して、解決したい事柄を明確にする。	〈評価規準〉 ・自分の課題意識に関連する新聞記事を収集して、解決したい事柄を明確にしようとしている。(関心・意欲・態度) 〈評価方法〉 ・行動の観察	
	二 2	○解決したい事柄に関連する他の新聞記事や報道の文章、書籍やインターネットから集めた情報を整理・分類する。 ○整理・分類した情報の中から解決したい事柄に対する根拠となる情報を取り出し、ワークシートにまとめる。	〈評価規準〉 ・情報の内容を整理し、主張と主張につながる根拠との関係について理解している。(知識・理解) 〈評価方法〉 ・ワークシートの記述の点検	
	三 3	○クラスの他の人との対話を通して、集めた情報の妥当性・信頼性を吟味し、ワークシートに修正を加える。	〈評価規準〉 ・集めた情報の根拠の適切さや情報の出典を確認した上で、集めた情報の正誤や適否について詳しく検討することができる。(関心・意欲・態度) 〈評価方法〉 ・ワークシートの記述の分析	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。
	四 4・5	○解決したい事柄に対する自分の考えが伝わるよう集めた情報を根拠としてその説明を考え、文章の形態や文体、語句などを工夫して書く。 ○これまでの資料をまとめながら、1000字で意見文を書く。	〈評価規準〉 ・出典の明示の仕方を理解している。(知識・理解) ・自分の考えが伝わるよう、主張と根拠を明確にし、文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現で書いている。(書く能力) 〈評価方法〉 ・意見文の記述の確認	
五 6・7	○意見文をクラス内で発表し、相互評価を行う。	〈評価規準〉 ・情報の内容を整理し、文章の効果的な組立て方を考えたり、自分の考えが的確に相手に伝わるよう表現の仕方を工夫することができる。(書く能力) 〈評価方法〉 ・ループリックの評価内容の確認		